

こどもの権利に関する条例（仮称）制定に向けた 特別支援学校ワークショップ結果

令和 7 年10月31日

富山県厚生部こども家庭室こども政策課

特別支援学校ワークショップの概要

1 ワークショップ実施期間

令和7年5月26日（月）～5月30日（金）

2 ワークショップ実施校及び参加者

富山総合支援学校（5月26日（月））

中高生 10名

にいかわ総合支援学校（5月30日（金））

中高生 12名

3 ワークショップの内容

- ・ 県から条例の趣旨、素案の概要について説明
- ・ 以下の3点について、利用者からの意見発表
 - ①学校や施設で生活するうえで守らなければならないルール
 - ②こどもが元気に成長するために当たり前に大切なこと
 - ③こどもの権利を守るために、社会や周りの大人にしてほしいこと

主な意見

①学校や施設、家で生活するうえで守らなければならないルール

スマホのゲームは一日2時間までにすること。課金はしないこと。

時間を守ってタブレット端末を使うこと。

電車の中では静かにすること。

廊下を走らないこと。

帰ってすぐに洗濯すること。夕方に水やりをすること。1日1回手伝いをすること。

夜9:30には部屋に入って寝ること。

時間を守って行動すること。

お医者さんに言われたことを最後まで聞いて守ること。

学校の係の役割分担を1か月ごとに入れ替えること。

ごみは必ず持ち帰ること。

汚い言葉を使ってはいけないこと。

主な意見

②こどもが元気に成長するために当たり前に大切なこと

勉強することやコミュニケーションを取れるようになること。

自分の考えや意見を自由に言えて、それが大切にされること。

悩み事を抱えすぎると心がひどくなるので、何かあればお母さんに相談できること。

健康のため、時間を守って学校に行ったり、食事をバランスよくとること。

体力をつけて元気に過ごすため、しっかりご飯を食べること。

一人で落ち着いて過ごせること。

ほしいものを買えること。

友人を作れること。

新しい好きな事を見つけられること。

意見を言うための環境が整えられること。経験がないといざというときに意見が言えないため、小さいころから多くの場で自分の意見を言って自信をつけることが大切。

主な意見

③こどもの権利を守るために、社会や周りの大人にしてほしいこと

意見を自由に言いやすくするため、先生や大人と1対1で話す場を作してほしい。

ダメな事や悪いことをしようとしていたらしっかり注意してほしい。

もっと成長できるようにアドバイスがほしい。

家族に相談を聞いてほしい。心と体が安心するから。

それぞれの障がい者に苦手なことや得意なことがあることを、健常者が知る機会があると障がい者も意見を言いやすくなる。例えば、サークル活動で同じテーマについて意見発表をするとか。

こども同士の関係性を調べたうえで、どうすればこどもの権利がうまく働くか、大人もこどもも勉強して知ってほしい。

まとめ

- 1 こどもが元気に成長するために当たり前に大切なことを聞いたところ、心身ともに健康で元気に過ごすことや、意見を言うことの大切さを指摘するなどの意見があった。



- ・ 既に条例素案に規定されているこどもにとって大切な権利（第４条）の規定趣旨にすべて含まれていることを確認した。

- 2 こどもの権利を守るために、社会や周りの大人にしてほしいことを聞いたところ、こどもの視点に立って情報提供することや、意見を表明しやすい環境づくりに関する意見が多かった。



- ・ 既にこどもの支援に関する基本的施策として条例素案に規定されている「こどもの視点に立った情報提供」（第１６条）や「こどもが意見表明しやすい環境づくり」（第１７条）の規定趣旨に沿うものである。